

## 米山奨学生面接試験

出席者：横山G、大谷GE、松本GN、笠原委員長、村橋、  
北川、磯田、荻原、武島、米田、稲邑、青木  
各委員、事務局栗正・米山学友会の皆さん

地区米山奨学委員会

委員 **青木 達也**

(大阪西南RC)

新年が明けて間もない1月13日、恒例の米山奨学生候補者の面接試験が行われました。試験会場は今年も上本町にある日本語学習センターを使用させて頂きました。この会場は当委員会の磯田委員の勤務先なのですが、米山奨学会の趣旨に多いなるご理解とご協力の下、使用させて頂きました。

9時過ぎから笠原委員長はじめ関係者が続々と集まり9時30分より事前打ち合わせのミーティングが行われました。初めに横山Gから面接ポイントについて政治的な事、宗教的な事、家庭的な事についての質問は注意して行う等、幾つかの確認の後、事例ディスカッションを全員で行いました。

10時より奨学生候補者との面接がいよいよ始まります。4ヶ所の面接会場に各委員が手分けして入り活発なやりとりが行われました。私は今回が3回目の面接になりますので、余裕を持って多方面から人物像の確認をしたり質問をする事ができました。やはり複数回の面接経験は、対象者への理解と判断の

上で多いに有意義でありました。

候補者の留学生からは、現在の勉学の状況や将来の事などについて熱心に主張が行われました。来日後間もないので日本語が充分でなく、文化や習慣などについても理解不足でとても苦労している事等が切々と伝わり理解が深まりました。今回の留学生は、12ヶ国から55名の応募がありました。昨年の12月に書類審査を行い予め論文等は事前に読解して有りましたので、スムーズに進行する事が出来たと思います。

12時から控え室に戻り、差し入れのすき焼き弁当で昼食をとりながら、わいわいがやがやと情報交換を交え親交を深めました。更に米山学友会の会員の皆さん達の協力もとても助かりました。留学生にとっても学友会のサポートは心強く感じた事と思います。

3時30分面接試験は、予定通りに無事終了し、本日の反省を行い散会しました。ご出席の皆さんお疲れ様でした。

